

「上州河原湯」
暮ふりて 秋 たのみなし。
村のうちに、旅をとりよも
入れじ ことばなり
(春のいふたれ)
釈 暹聖

國學院大學学報

平成28年 11月第651号 定期号(毎月10日発行) 1部20円

創立134年を迎えて

11月1日に134回目の本学創立記念日(11月4日)を前に、創立記念祭をはじめ、関係物故者慰霊祭、永年勤続者表彰式が、渋谷キャンパスで挙行された。

創立記念祭

午前9時から渋谷キャンパス神殿で創立記念祭(斎主・大野靖仁神役、神道文化学部教授)が斎行された。坂口吉一理事長をはじめ、友会関係者などが参列した。



神道文化学部学生による浦安の舞(創立記念祭)

関係物故者慰霊祭

午前10時30分からは関係物故者慰霊祭(斎主・茂木貞純神職、神道文化学部教授)が、渋谷キャンパス百周年記念館記念講堂で執り行われた。



祭詞奏上(関係物故者慰霊祭)

永年勤続者表彰式

11月1日、渋谷キャンパス有栖川宮記念ホールで永年勤続者の表彰式が行われ、坂口吉一理事長から、勤続45年・40年・30年・20年の節目を迎えた本学入傘下各校の教職員35人に表彰状が授与された。

就職活動へ意識高める 大手・優良企業招き業界セミナー

経団連は9月12日、新卒学生の就職活動の日程を、来年(平成30年3月卒)も今年(平成29年3月卒)と同じく3月に説明会解禁「6月に採用面接など選考解禁」とする方針を正式に決めた。



説明を熱心に聞く学生

【勤続20年】浅野春二、秋澤互、石川則夫、柴田紳一、高橋昌一郎、林和生、針本正行、大坂健、小木曾道夫、久保田裕子、古沢広祐、武田秀章、近藤良彦、後藤匠、安西晴美、福山康一郎、小林香(以上大学)

主な内容

- 2面 学生たちが渋谷区長に施策提言
- 3面 平成29年度学費一覧
- 4面 経済学部連続講演会
- 5面 共育フェス、国際研究フォーラム
- 6面 ホームカミングデー
- 7面 キャンパス見学会、観月祭
- 8面 博物館企画展
- 9面 インフォダイジェスト
- 10面 若木学友会が予算など承認
- 11面 全日本大学駅伝総合9位
- 12面 箱根駅伝予選会突破

「慰霊の舞」、フイエール・コール混声合唱団の奉仕による「追悼歌」の奉納が続いた。

みはるかすもの

日本をはじめ世界で発生する近年の自然災害を思うと、対応の完備が難しいことは周知のことである。ど

「指定寄付金」にご協力のお願い

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するために、広く寄付を募っています。

本法人に対する寄付は、専用紙による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardの2種類です。

募集する寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学金」「学生・生徒等の活動支援」などに加え、学生の課外活動を支援するために役立てられる「課外活動支援（スポーツ強化部会等）」「メッセージ募金」を設けています。「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外活動などを熱心に取り組んでいる学生に向けて、ホームページ上からメッセージを直接投稿してもらう仕組みです。ワンコイン（500円）から寄付が可能です。メッセージはそのホームページ上に公開されます（匿名可）。

募金に関するホームページは、以下のURLから閲覧いただけます。http://kifu.kokugakuin.ac.jp/

税制上の優遇措置

本法人への指定寄付金は、次のとおり税制上の優遇措置を受けることができます。

個人所得税については

特定公益増進法人への寄付金としての「所得控除」または「一定要件を満たした学校法人への寄付金」としての「税額控除」のうち、いずれかの税制を寄付者が選択し、確定申告を行うことで所得税が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択した方が、減免が大きくなります。

個人住民税については

お住まいの自治体が条例により本法人への寄付を税額控除の対象と指定している場合に限り、確定申告を行うことで住民税が減免されます。

法人からの寄付については、特定公益増進法人に対する寄付金として扱われ、所定の計算式に基づき、限度額まで、該当事業年度の損金に算入することができます。

寄付金の申し込みと納付が確認できたら、本法人発行の領収書と文部科学省発行の証明書をお送りします。確定申告などの税務手続きを行っていただく際、寄付金のお申し込みや手続きについてご不明な点があれば、総務課（203・5466・0111）までお問い合わせください。

各方面の方々からの寄付に、深く感謝申し上げます。（総務部総務課）

平成28年度指定寄付者一覧 (敬称略)

寄付者	寄付目的	寄付対象	寄付金額	寄付月日
匿名	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	1,000,000	平28.4.5
匿名	学生・生徒等の活動支援	国学院大学 北海道 短期大学部	200,000	平28.4.5
坂本 真佐人	学生・生徒等の活動支援 (国学院大学付属幼稚園の図書購入等)	国学院大学 付属幼稚園	100,000	平28.4.5
坂本 真佐人	学生・生徒等の活動支援 (国学院幼稚園の図書購入等)	国学院幼稚園	100,000	平28.4.5
宮原 幹二	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	100,000	平28.4.18
白杵 千枝子	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	100,000	平28.4.18
匿名	学生・生徒等の活動支援 (教職支援奨学金)	国学院大学	1,000,000	平28.5.20
匿名	学生・生徒等の奨学金 (カヒヘ奨学金)	国学院大学	1,000,000	平28.5.25
宮川 宣親	施設・設備充実支援	国学院大学	1,000,000	平28.5.30
宇都木 丈夫	教育・研究振興支援	国学院大学	50,000	平28.5.31
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	教育・研究振興支援(貴重書デジタル化)	国学院大学	100,000	平28.5.31
新井 ささほ	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	20,000	平28.6.13
浦部 哲郎	教育・研究振興支援(史学科1207(根岸教授)研究室への研究支援)	国学院大学	200,000	平28.6.13
嶋崎 敬	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	10,000	平28.6.15
株式会社トップコート 代表取締役 植松 正	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	500,000	平28.6.27
匿名	学生・生徒等の活動支援 (あすなろ奨学金資金)	国学院大学	200,000	平28.6.27
国学院大学生協同組 理事長 紺井博則	学生・生徒等の活動支援(東日本大震災被災学生支援)	国学院大学	400,000	平28.6.29
市川 博之	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	1,000	平28.7.15
山口 耕司	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	10,000	平28.7.29
戸室 三四郎	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	1,000	平28.7.29
市川 博之	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	1,000	平28.7.29
飯田 愛子	学生・生徒等の奨学金	国学院大学	10,000	平28.8.25
国学院大学院友会 会長 吉田 茂穂	学生・生徒等の活動支援(第124期卒業記念品制作)	国学院大学	600,000	平28.8.31
市川 博之	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	1,000	平28.8.31
光武 繁	教育・研究振興支援	国学院大学 北海道 短期大学部	300,000	平28.9.14
株式会社四門 代表取締役 那波 市郎	教育・研究振興支援(考古学研究室)	国学院大学	150,000	平28.9.30
市川 博之	学生・生徒等の活動支援	国学院大学	1,000	平28.9.30
合計			7,155,000	

高校生対象コンテストが応募締め切り

「全国高校生創作コンテスト」 合計1万2966点(1万8130点)		
短編小説部門	505点	(601点)
現代詩部門	652点	(613点)
短歌部門	3284点	(4768点)
俳句部門	8525点	(12148点)
「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト 合計628点(640点)		
地域文化研究部門	団体	10点(16点)
	個人	359点(426点)
地域民話研究部門	団体	6点(6点)
	個人	236点(185点)
学校活動部門	17点	(7点)

国学院大学と高校生新聞社が主催する「全国高校生創作コンテスト(第20回)」と「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(第12回)の応募が9月12日に締め切られました。各コンテストの応募点数は別表のとおり(カット内は昨年度の点数)。

なお、審査結果は11月下旬に確定。各表彰式が12月4日(日)に本校学生センターで行われる。

平成29年度 学費一覧

平成29年度学費は次のとおりです。

区分	学部 (単位:円)					
	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
文学部 経済学部 法学部	平成29年度	260,000	700,000	201,000	10,000	1,171,000
	平成21~28年度	—	700,000	201,000	10,000	911,000
神道文化学部 人間開発学部	平成19~20年度	—	691,000	201,000	10,000	902,000
	平成18年度以前	—	691,000	—	10,000	701,000

備考 1. 平成18年度以前の入学生の施設設備費については、卒業までに4年度分納入するものとする。
2. 再入学者の入学金については半額とする。

入学年度	別科 (単位:円)					
	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	実習料 (入学年度のみ)	合計
平成29年度	145,000	420,000	81,000	10,000	6,000	662,000
平成27~28年度	—	420,000	81,000	10,000	—	511,000

出身別	専攻科 (単位:円)					
	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計
本学卒	平成29年度	130,000	700,000	100,500	10,000	940,500
	平成28年度	—	700,000	100,500	10,000	810,500
他大学卒	平成29年度	260,000	700,000	201,000	10,000	1,171,000
	平成28年度	—	700,000	201,000	10,000	911,000

備考 本学出身者の入学金および施設設備費は半額とする。

出身別	大学院 (単位:円)						
	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	維持運営費	合計	
前期課程	本学卒	平成29年度	100,000	505,000	100,000	10,000	715,000
		平成28年度以前	—	505,000	100,000	10,000	615,000
	他大学卒	平成29年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
		平成28年度以前	—	505,000	200,000	10,000	715,000
後期課程	本学卒	全入学年度	—	505,000	—	10,000	515,000
		平成29年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
	他大学卒	平成29年度	200,000	505,000	200,000	10,000	915,000
		平成28年度以前	—	505,000	200,000	10,000	715,000

備考 1. 授業料、施設設備費、維持運営費は在学中毎年度納入するものとする。
2. 本学出身者の入学金及び施設設備費については次のとおりとする。
イ. 前期課程=半額
ロ. 後期課程=本学前期課程修了者は徴収しない。本学学部出身者で、他大学前期課程修了者は半額。

出身別	法科大学院 (単位:円)					
	入学年度	入学金	授業料	施設設備費	合計	
本学卒	平成25~27年度	—	950,000	50,000	1,000,000	
	平成24年度以前	—	1,300,000	100,000	1,400,000	
他大学卒	平成25~27年度	—	950,000	200,000	1,150,000	
	平成24年度以前	—	1,300,000	200,000	1,500,000	

備考 1. 授業料、施設設備費は在学中毎年度納入するものとする。
2. 本学の学部、大学院出身者の施設設備費は50,000円とする。

教育充実資金(維持費)寄付者芳名

本学では、教育・研究の一層の充実をはかるため、平成28年度教育充実資金(維持費)のご協力をお願いいたしましたところ、現在までに177人の方々からご寄付をいただきました。

ここに寄付者の芳名を掲載し、重ねて深甚の謝意を表します。

北海道▽反橋徹殿▽永井承邦殿▽星野昭雄殿▽堀田智彦殿▽青森県▽長利文彦殿▽岩手県▽伊勢義人殿▽佐々木秋枝殿▽丹野匡殿▽千田仁志殿▽宮城県▽菅野文恵殿▽佐々木豊彦殿▽秋田県▽金山智秋殿▽山形県▽佐藤久樹殿▽深瀬茂殿▽福島県▽下山田大膳殿▽富田好弘殿▽仁科英俊殿▽茨城県▽上村繁殿▽佐藤保殿▽中根聡美殿▽野田秀和殿▽栃木県▽関栄二殿▽檜山浩殿▽藤巻正殿▽吉原雄一殿▽群馬県▽有光正博殿▽池田文広殿▽埼玉県▽大滝晴代殿▽大沼優紀殿▽大山信行殿▽小名茂殿▽北見県▽小嶋一行殿▽田中直樹殿▽中村村郎殿▽成澤和廣殿▽橋本敏雄殿▽原島保美殿▽福嶋広之殿▽堀口一郎殿▽前崎泰志殿▽匿名▽千葉県▽荒木隆殿▽石川信夫殿▽大川栄二殿▽押尾忠久殿▽窪谷正志殿▽齋藤孝則殿▽佐々木浩殿▽地曳克治殿▽関由貴殿▽中武修一殿▽長谷川浩一殿▽福島誠司殿▽福原茂樹殿▽藤原守殿▽吉見邦彦殿▽東京都▽阿部明徳殿▽荒木隆宏殿▽池田和生殿▽池田聡殿▽伊藤英典殿▽岩本全康殿▽頼川尚弘殿▽大田啓武殿▽大原啓司殿▽大堀弘殿▽岡部延幸殿▽尾崎雅子殿▽小田

一之殿▽柿澤史行殿▽加藤希久代殿▽河邊幸夫殿▽菊地辰成殿▽蔵部友明殿▽左近充正明殿▽笹田雅彦殿▽篠原養一殿▽嶋田幸雄殿▽新保裕殿▽炭谷拓美殿▽瀨尾義広殿▽宅間誠殿▽田中美教殿▽千葉正胤殿▽土井寛殿▽都丸幸雄殿▽長崎秀一殿▽永谷栄一郎殿▽温井正司殿▽羽生孝博殿▽廣田一朗殿▽福田邦夫殿▽星野美香子殿▽星野泰之殿▽水谷敦憲殿▽武藤直樹殿▽森田庸夫殿▽山口敦殿▽山口裕殿▽山田和久殿▽神奈川県▽赤尾幸俊殿▽伊藤雅巳殿▽今井悦朗殿▽金谷康宏殿▽河地宏幸殿▽幸坂孝之殿▽小室ゆかり殿▽近藤広子殿▽齋藤吉人殿▽塩谷正治殿▽高橋文仁殿▽建守実津子殿▽田中敏夫殿▽田中美殿▽戸塚直美殿▽戸谷田和秀殿▽西村友宏殿▽沼田芳樹殿▽水上健殿▽宮本佳昭殿▽矢口雅司殿▽矢部裕一殿▽山崎俊也殿▽匿名▽新潟県▽足利浩之殿▽久我右殿▽永井正樹殿▽末崎猛殿▽八木寿頭殿▽山口正子殿▽富山県▽鈴木瑞磨殿▽平尾晃殿▽松本正樹殿▽宮崎慎一殿▽石川県▽大坪和之殿▽高木宣維殿▽西出善治殿▽松尾聰親殿▽福井県▽秋元和彦殿▽佐々木俊一郎殿▽山梨県▽小倉正一殿▽長野県▽小松弘明殿▽篠崎和博殿▽下條孝仁殿▽牧内守殿▽松澤良二殿▽両角順一殿▽岐阜県▽細川嘉彦殿▽静岡県▽相佐知美殿▽小澤道昭殿▽坂弘治殿▽櫻井博殿▽庄司明殿▽関野晴雄殿▽橋本雅弘殿▽森崎伊佐緒殿▽諸井宏司殿▽愛知県▽小泉雅昭殿▽種村明子殿▽松本幸一殿▽宮田祥伸殿▽鳥取県▽大西基道殿▽島根県▽古川和匡殿▽広島県▽佐伯和信殿▽谷本義典殿▽徳光收殿▽山口県▽東條良枝殿▽香川県▽山根耕治殿▽福岡県▽井口勉殿▽添田祐治殿▽武基孝公殿▽西田久志殿▽波多野和伴殿▽大分県▽朝来野治殿

大学院秋季入試結果

国学院大学大学院の平成29年度秋季入試試験の志願者・合格者は次のとおりであった。

()内は合格者数。単位は人。

◇大学院

◎文学研究科◆博士課程前期

神道学・宗教学専攻▽一般8

(6)▽留学生1(1)▽社会人1(1)▽文学専攻▽一般21(14)▽留学生7(5)▽社会人2(1)▽史学専攻▽一般25(14)▽留学生1(1)▽社会人0◆博士課程後期▽神道学・宗教学専攻▽一般0▽留学生0▽社会人0

◎文学専攻▽一般1(1)▽留学生0▽社会人1(1)▽史学専攻▽一般0▽留学生0▽社会人0

◎法学研究科◆博士課程前期▽一般2(2)▽留学生0▽社会人1(0)

◎経済学研究科◆博士課程前期▽学内推薦1(1)▽一般2(0)▽留学生2(1)▽社会人0

経済学部連続講演会

本学経済学部では、学部開設50周年を記念した周年事業が行われている。その1つとして「連続講演会」地方創生」が10月8日から始まり、

初回は川勝平太静岡県知事を講師に迎え、午後2時から渋谷キャンパス学術メディアセンター常盤松ホールで「富国徳の理想郷『ふじのくに』づくり」

2回目は11月8日に米沢市で「富国徳の理想郷『ふじのくに』づくり」

た価値共創「地域経営の最前線からの挑戦」と題する講演が同場所で行われた。尾近裕幸経済学部長・教授のあいさつ、秦信行経済学部教授の講師紹介があり、講演へと移った。



川勝静岡県知事



米沢市市長の講演

米沢市長は「まず地域の戦略『フードバレーとかち』について説明。十勝の持つポテンシャルに着目し、大規模畑作酪農地帯・食料供給基地という背景を活かしながら、生産・加工・流通・販売が結びついた十勝型『フードシステムの構築を目標とするもので、その具体的な取り組みと実績が紹介された。また、米沢市長

知事が「地方創生」行政を紹介

は、「地方創生の事業推進には、担い手となる『ひと』が不可欠。若者に『住むなら十勝、働くなら十勝』という選択肢を与えるため、都市としての魅力をアピールするだけではな

く、仕事と環境づくりが課題」として、米沢市長の講演を紹介した。

来月1月21日(土)には増田寛也野村総合研究所顧問による第3回の講演が予定されている。

が有効であると解説した。最後に小林弁護士は「積極的に権利を主張することが、現状を変えるには必要」と労働者が主体的に、自らの待遇改善に向け働きかけることの必要性を学生たちに提言した。

法学会講演会第2回 ブラックバイト問題

10月27日午前9時から渋谷キャンパス120周年記念2号館2301教室で、今年度2回目となる法学会講演会が開催された。講師に弁護士で日本労働弁護団

の常任幹事小林護士二を招き、「労働者の権利とその行使」ブラックバイトへの対応などを実務的観点から分かりやすく解説します」がテーマに掲げられた。

労働問題の解決に積極的に取り組む小林護士は「まず、現在の日本の労働環境全体の問題点を指摘。その後近年問題視されているブラックバイトについて実際に受けた相談内容から一例が紹介された。

その上で、具体的な対策として、労働法の知識を身につける、勤務時間を記録に残して証拠を確保するなどが紹介された。

最後に小林護士は「積極的に権利を主張することが、現状を変えるには必要」と労働者が主体的に、自らの待遇改善に向け働きかけることの必要性を学生たちに提言した。

最後に福岡英明法科大学院副院長からのあいさつ、そして司会の山口輝幸法学部事務部長が挨拶した。法曹界での2人の活躍を期待し、喜びを分かち合うひとときとなった。



講演する小林護士

保木本名善教授逝去 保木本名善教授は、11月3日に逝去。81歳。葬儀は11月13日に、西橋寺(鳥取県八頭郡)で執り行われる。喪主は長男の利行氏。保木本氏は昭和9年生まれ

38年東京大学大学院社会科学部研究科法専攻課程を修了。東京大学社会科学部助手を経て43年本学法学部専任講師。46年助教授、53年教授。平成17年定年退職。同年名誉教授。在職中は大学院法学研究科委員

法 優生学からの訣別』、『核と遺伝子技術の法的統制 先端科学技術と法』(日本評論社)などがある。

佐藤泰司元職員逝去 本学事務局元財務部管理課ボイラー室主任佐藤氏が10月25日に逝去した。78歳。通夜は、10月27日に、告別式は翌28日にフリエ久喜(埼玉県久喜市)で執り

行われた。喪主は長男の竹規氏。佐藤氏は昭和13年生まれ。32年福島県立慶雲高等学校卒業。国鉄職員などをを経て36年本学汽機室。52年同技師、平成6年経理部管理課ボイラー室主任技師、11年同室長、15年定年退職。17年まで財務部管理課



フォーラムの様子

文部科学省が進める最新の学習システム、アクティブラーニング(AI、能動的な学習)について理解を深める「国学院大学経済学部開設50周年記念企画 アクティブラーニング学生アシスタントフォーラム」が10月29日、渋谷キャンパスで開かれた。本学をはじめ、AI導入先進大学の立教大学と関西大学の学生によるパネルディスカッションが行われたほか、ワークショップなどで交流を深めた。

AIは教員が学生に一方的に知識を伝えるのではなく、課題研究やディスカッションなど能動的な学習を取り入れた授業の総称。経済学部の教員、学生が登壇。各大学の事例紹介が行われたほか、インベスト代表の松岡洋佑氏をモデレーターにパネルディスカッションが行われた。本学では根岸毅宏経済学部教授とF.Aの迫田凛太郎君(経ネ3)、同じく箕輪英真君(経ネ2)が活動報告をしたほか、受講生の意欲を尊重し、自分の考えを押しつけない接し方などを説明した。

ワークショップでは、学生らが小グループに分かれ、提案づくりを行い、投票の結果、AIを展開する大学間でのアシスタント交換制度を求めた提案が最も票を集めた。このほか、各グループではそれぞれの大学での活動に質問したり、意見交換したりしていた。

ワークショップでは、学生らが小グループに分かれ、提案づくりを行い、投票の結果、AIを展開する大学間でのアシスタント交換制度を求めた提案が最も票を集めた。このほか、各グループではそれぞれの大学での活動に質問したり、意見交換したりしていた。

AI学生アシスタントフォーラム

『国学院雑誌』特集号を刊行

国学院大学の文学部、神道文化学部、大学院文学研究科、専攻科、別科生対象の学術雑誌『国学院雑誌』では、特集号「中国学の眺望」(別表に掲載内容)を11月15日に刊行。配布は若木タワー2階の広報課で(対象学生以外には有料で配布)。

国学院雑誌特集号「中国学の眺望」掲載内容一覧

文学の動機	川合康三(本学教授)
『山海経』 佚文考	松田稔(元本学教授)
劉歆「世経」の示す歴史認識について	佐川蘭子(本学准教授)
後漢・臧洪の絶交書について	宮内克浩(本学准教授)
嵇康「釈私論」の文学的考察	大上正美(本学大学院兼任講師・青山学院大学名誉教授)
聖・賢の境界—皇侃「論語義疏」における顔回—	今井裕一(長野俊英高校教諭)
『鶯鶯伝』における作者の自照性について	赤井益久(本学学長・教授)
白居易の用語「新蟬」について	谷本玲大(本学兼任講師)
中国近世の宗教文芸	小南一郎(泉屋博古館館長・京都大学名誉教授)
蘇軾「書伝」における史事の引用について	青木洋司(本学助教)
宋代訓蒙書と朱熹「小学」	松野敏之(国土館大学准教授)
道教の十王儀礼の展開—黄籙齋と十方—	田中文雄(本学兼任講師)
全形儀小考—南宋期道教の黄籙齋から—	浅野春二(本学教授)
清朝宮廷の西洋人画家とその作品について	王凱(本学兼任講師・中国杭州師範大学教授)
張惠言の「七十家賦鈔」について	鈴木崇義(本学准教授)
内なるココロを表出する一段注の「書」を中心に—	大橋由美(本学兼任講師)
井上紅梅筆下の中国江南における語り物と芸人	吉川良和(神奈川大学非常勤講師)
林謙三と郭沫若—「隋唐燕楽調研究」誕生秘話—	山寺三知(国学院大学北海道短期大学部教授)
舜子譚伝承考—継子いじめと聖人故事—	繁原史(常葉大学短期大学部名誉教授)
口承三国志の研究 曹操伝説を例として	立石展大(本学兼任講師・高千穂大学教授)
ミエン・ヤオ族の還家願儀礼で詠詠詠唱される「大歌書」の異本対照の試み	廣田律子(本学兼任講師・神奈川大学教授)
漢文文献のモンゴル語訳について—漢文化の北方への伝播と展開—	金岡秀郎(本学兼任講師)
菅原道真「喜雨詩」と「漢書」	波戸岡旭(元本学教授)
佐賀県立図書館蓮池文庫蔵書目録の基礎的考察	高山節也(本学兼任講師・二松学舎大学教授)
「おくのほそ道鈔」と漢詩文	塚越義幸(本学兼任講師・国学院大学栃木短期大学教授)
「湘夢詩草」頼山陽批語之述評	吳鴻春(本学准教授)
橘曙覧の和歌と漢詩文との関係について	前川幸雄(福井工業高等専門学校名誉教授)
高大一貫の漢文教育	渡辺正一(本学兼任講師)

人間開発学部主催 第8回共育フェスティバル

地域とともに子育てを考える



「親子deクッキング」でクッキー作り

第8回共育フェスティバルが、10月30日にたまらざりキャンパスで開催され、過去最多となる1648人の親子連れが参加した。

同イベントは、地域と共に学びや遊びを通じて子どもたちの成長を考えるために毎年開催されている。教育学部である人間開発学部の在籍生が教員とともに春から準備を進めてきた。今年のテーマは「共育・養育・笑顔」。当日は20を超える催しが各教室で行われ、子どもたちの歓声がキャンパスは終日賑わいをみせた。



子ども向けミュージカルを披露する在学生



多彩な特別教室を生かした催しが行われるのもこのイベントの特長の一つ。音楽教育用のリトミック教室では童謡をモチーフにしたミュージカルやコンサートが行われたほか、調理実習室ではクッキー作りが行われ、学生と一緒に個性豊かな形に焼きあがったクッキーを頬張った。また理科実験室での身近な素材を使った実験教室や体育館での運動プログラムも人気を集めていた。

参加した保護者からは、在学生の姿に対して、「学生さんが丁寧にサポートしてくれ、子どもを熱心に盛り上げてくれる。他のイベントにはない」と評価の声が多く上がった。同日は、今年度最後のオープンキャンパスも同時開催された。在学生が活躍する姿に、高校生たちは将来の自分の姿を重ね合わせているようだった。

異なる宗教文化をもった人びとの日常的な付き合いは深まる一方である。企業もまた宗教文化の基礎知識を得ておくことの必要性を

日本文化研究所 国際研究フォーラム

「東アジアのグローバル化と宗教文化」



報告を行う井上機構長

10月16日午後1時から、渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで、研究開発推進機構日本文化研究所が主催する国際研究フォーラム「東アジアのグローバル化と宗教文化」が開催された。

フォーラムでは大阪工業大学の川田進教授、研究開発推進機構長の井上順孝神道文化学部教授、海外から招いた台湾国立中央研究院の齊偉光専任研究員、オーストラリア国立大学のベンジャミン・ペニー教授が報告を行った。岩井洋塚山大学学長のコメントの後、最後に司会の櫻井秀北海道大学教授の進行によって総合討議が行われた。

フォーラムでは、東アジアにおける諸課題を検討するとともに、今後も研究交流・意見交換を続けていくことの重要性などが熱心に議論され、約100人の来場者が耳を傾けた。

国学院大学が宗教文化士の資格取得でトップ

平成23年1月に国学院大学を含め全国の8大学がパイロット校となって、宗教文化士制度が発足した。同年11月に第1回の認定試験が行われたが、以後年2回認定試験が実施されて、本年6月で10回を数える。

大学において関与する単位を16単位取得しないと受験できないという、少しハードルの高い認定試験である。それでもこれまでに247人が宗教文化士の資格

センターの事務局が国学院大学研究開発推進機構内に置かれているという利点もあるが、第一には本学の教育の特徴が関係している。

講義を用意しようとしている他大学の関係者からうらやましがられている。日本社会においてグローバル化はますます進行し、

しだいに認識し始めている。宗教文化士となった人々にはセンターから季刊のメルマガが無料で送付され、継続的に現代社会の宗教問

題についても知識を深めることができるシステムになっている。

この制度には日本宗教学会(会員約2千人)と宗教と社会学会(会員約500人)という2つの全国学会が連携機関になっている。参加大学も当初の8大学から14大学に増え、今後

さらに増加していく見込みである。また今年3月に出版された大学評価・学位授与機構作成の報告書において、センターの設立経緯と

資格は5年間有効で、その後更新のためのレポート等を提出すると上級宗教文化士(終生の資格)となれるシステムである。最初の

上級宗教文化士は来年3月に誕生する予定である。国学院大学の在籍生や卒業生がこの資格を活かし、本学の教育の質の高さを社会に

いっそうアピールしてほしいと願っている。

公開学術講演会

「描かれた近世の祭礼」



10月22日午後3時から渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで、研究開発推進機構主催の公開学術講演会「描かれた近世の祭礼」が開催され、約150人が参加した。同企画は、国学院大学博物館で開催されている企画展「祭礼行列―渡る神と人―(8面別項参照)」の関連企画で、福原敏男武蔵大学教授(昭55卒・88期史、昭57修・90期博前神)が講演を行った。

福原氏は、愛知県津島市神明町の津島神社の夏の祭「尾張津島天王祭」や東京・神田神社の神田祭で、江戸時代に登場した山車や鉦、屋台について絵巻や錦絵を用いて紹介。企画展に出品中の本学図書館所蔵「つしま祭絵巻」については、最新の研究を踏まえて考察を述べた。

「出版助成」に5件採択

本学では専任教職員を対象に本学の学術振興を図ることを目的として、学術論文等の出版(甲)と、学術専門図書出版(乙)において学会に裨益することが顕著であると認められたものに対して助成する「出版助成」を毎年行っている。



赤井学長と4人の採択者(左端は石井副学長)

今年度、(甲)に採択されたのは戸村理教育開発推進機構助成の「戦前における早稲田と慶應の経営比較：近代日本私立高等教育機関の一瞥型」。(乙)には野中哲昭文学部教授の「陸奥話記の成立」、上山和雄文学部教授の「日本近代蚕糸業の展開」、谷口康浩文学部教授の「縄文時代の社会複雑化と儀礼祭祀」、本田一成経済学部教授の「チェーンストアの労使関係―日本最大組織労働者の原像と『Zモデル』―」の4件を採択した。10月19日に赤井益久学長から採択通知書が交付された。

院友迎えキャンパス賑わう

平成28年ホームカミングデー



あいさつをする赤井学長

の物産を販売。参加者はさっそく品定めを行っていた。

吹奏楽部卒業生によるミニコンサートでは、パワフルで一体感のある演奏に耳を傾けていた。

正午からは国学院大学図書館の所蔵資料を一般に解説する「図書館展示解説」が行われた。戦国時代のコーナーには大勢の歴史ファンが参加。担当教員から実物の武家文書の説明を受け、戦国時代に思いをはせていた。国学院大学博物館では「10倍楽しくなるミュージアムトーク」が行われ、展示担当教員が展示品の見方、楽しみ方をユーモアたっぷりに解説していた。

午後1時からは120周年記念2号館2104教室で、開会セレソ

仲間との再会に笑顔

1年に一度、院友(卒業生)をキャンパスに迎え開催される「平成28年ホームカミングデー」が10月15日、渋谷、たまプラーザ両キャンパスで開かれた。渋谷キャンパスでは、院友自らが企画したコンサートや全国院友支部による物産展、在校生のオリジナル企画などたくさん催しが行われ、訪れた院友は恩師、仲間と再会するなど当時を懐かしんだ。

当日は午前11時から、若木タワー階で受け付けが始まり、この日を楽しみにしていた院友、家族関係者が列を作った。屋外では熊本、北海道、青森、福島、栃木、埼玉、千葉など各院友会支部のブースが並び、リンゴやワインなど

特別なプレゼントがもらえるところまで、参加者は汗を流しながら母校でのひとときを楽しんでいた。新しい大学の様子を見学するため参加した栃木県の黒田佳津子さん(昭62卒・95期文)と山形県の鈴木由佳さん(昭62卒・95期経)は「キャンパスがとても立派になっていて驚いた。田舎に戻ったらみんなに話します」とにこやかな表情を浮かべた。

たまプラーザキャンパスでは午後3時から、人間開発学部の院友を招いて「カフェラウンジ万葉の小径」で懇親会が開催された。今年3月に4期生となる卒業生が集まった人間開発学部から、50人の院友が集い、教員たちを囲んで久しぶりに親睦を深めた。

山里純一氏
第32回 八重山毎日文化賞受賞

山里氏は、日本古代史が専門。八重山高校から琉球大学、立正大学大学院、本学大学院に進み、博士(歴史学)を取得。現在は、琉球大学教授。八重山文化研究に寄与し、今回の受賞に至った。

第32回八重山毎日文化賞(八重山毎日新聞社主催)の受賞者が11月3日に発表され、山里純一氏(昭55卒・88期博後日本文学)が正賞を受賞した。同賞は、昭和60年、八重山毎日新聞社が創刊35周年を記念して創設した八重山の研究、芸術文化に顕著な業績をあげた人に贈られる賞。

なお、他の受賞者が判明した場合は、本紙653号(平成29年1月10日付)以降に紹介する。

秋の叙勲
11月3日付で秋の叙勲が内閣府から発令された。これまで判明した本学関係の受賞者は次のとおり。(11月10日現在)

- ◇瑞玉小綾章(教育功労)▽物部長仁(昭43卒・76期文、元公立高等学校長)
- ◇瑞玉単光章(現調停委員)▽鈴木かほる(平5卒・101期史、現調停委員)

本学関係者2氏が受章



学生アドバイザーのキャンパスツアー

キャンパスを案内するなど毎年好評を呼んでいる。
 渋谷キャンパスでは午前10時45分からオリエンテーションが行われ、冒頭、三竹俊彦学長が「イベントは盛りだくさんの内容で、学生生活に肌で感じてほしい」とメッセージを送った。また、竹俊彦学長が「イベントは原文を分かりやすくユーモアを交えた名調子で解説し、参加者は神話の世界を楽しみながら理解を深めた。父母のための就職ガイダンスでは就職サイト・リンクナビ編集長の大家淳一氏が

平成28年度キャンパス見学会開催

渋谷・たまプラーザに父母を招き

在学生の保護者で組織する国学院大学若木育成会は10月15日、渋谷、たまプラーザ両キャンパスで、恒例の「平成28年度キャンパス見学会」を開いた。両キャンパスには合わせて約1000人の父母や関係者が来校し、模擬授業やキャンパスを見学するなど学生生活を体感した。

同イベントは在学生の保護者に、国学院大学の様子を知ってもらい、理解を深めてもらう企画。学生が「話を学んだ。武田教授は

い」とあいつ。続いて赤井益久学長が本学の志願者、知名度、輩出教員数、就職率を紹介しながら大学の現況などを報告した。

このあと、各学部を代表する人気教授による模擬授業が行われ、参加者は熱心な耳を傾けていた。

神道文化学部の武田秀章学部長・教授の「古事記」に親しむには約80人が参加し、「天の岩戸神で、勉強環境について学んだ。武田教授は

大学生の就職環境について講演。これからの就職に際し大学生に求められることなどを解説した。また、「父母のための留学活用ガイダンス」も行われた。

キャンパスツアーは随時、学生がキャンパスを案内。参加者は神社参道を再発見する特別な施設や法廷を再現した教室などで説明を受けたほか、学生目線での解説が、勉強環境について学んだ。武田教授は

たまプラーザキャンパスの見学会では、オリエンテーションの後、一般企業・小学校教員・幼稚園教諭に内定した「4年生によるパネルディスカッション」就職活動を振り返る「や人間開発学部教員との昼食会などが行われた。パネルディスカッションでは、3人の学生が内定獲得までの苦労や、合格の秘訣など、難関突破への道程を披露した。



あいさつする三竹会長



武田学部長の模擬授業

第7回 観月祭斎行

熊本震災復興を願って

「熊本震災復興祈願 第7回観月祭」が10月15日、渋谷キャンパス130周年記念5号館のピロティで行われた。神道文化学部生を中心に50人の学生が古式ゆかしく日本伝統の管絃や神楽舞、舞楽を披露した。

今年は、熊本地震からの復興を祈念する祭典となり、ピロティの響座の前にすすき・小菊などを生けた祭壇で、はじめに修祓が行われた。続いて神酒、だんご、里芋や栗などが供えられ、祭主が学生生活の無事と震災からの復興を祈願する祝詞を奏上した。

玉串拜礼では、赤井益久学長、若木育成会と院友会のそれぞれの熊本県支部の代表が祭壇の前に進み、3人に合わせて観客全員で拜礼を行った。

管絃は太食調の音取から始まり、傾盂樂急、抜頭が演奏された。特設舞台上上がった楽人の学生らが、三管（笙、篳篥、龍笛）と三鼓（鞆鼓、太鼓、鉦鼓）の息のそろう演奏で場内を平安絵巻のような優雅な世界に誘った。

続く神楽舞では、豊栄舞と浦女の舞が女子学生によって舞われた。

最後は舞楽が舞われた。振鈴は、鉦を持ち襲装束をまとった2人の舞人が舞台を清める意味がある。「右舞 延喜楽」と「左舞 賀殿急」が奉納され、約2時間にわたる観月祭は終了した。

客席には保護者、卒業生や近隣住民ら約900人が詰めかけ、半年近くかけて練習を積んできた学生の演奏と舞に大きな拍手を送った。



ユネスコ・無形文化遺産へ 祭礼文化の企画展



文化庁は10月31日、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の無形文化遺産に推薦していた「山・鈴(ほこ)・屋台行事」(18府県の計33件)について、事前審査をしてきた評価機関が「登録」を勧告したと発表された。11月末から12月初めに行われる政府間委員会で正式に登録が決まる見通しだ。

国学院大学博物館では、これに先立ち10月15日から12月4日(日)まで企画展「祭礼行列・渡る神と人」を開催している。無形文化遺産への登録が内定した祇園祭、尾張津島天王祭をはじめ、賀茂祭、天下祭(神田祭・山王祭)などの祭礼の様子を描いた屏風、絵巻、刷り物などを展示。京都や江戸・東京などで成立し、各地に伝わった祭礼文化の発展を紹介している。

10月29日午後2時から、大東敬明研究開発推進機構准教授によるミュージアムトーク「祇園御霊会から札幌まつりへ」が開催された。大東准教授は各地で行われているお祭りを紹介しながら、行列に山・鈴・屋台などが加わる意味などを解説した。

次回特別展で火焰型土器26点を展示 日本遺産認定後、初めての開催

国学院大学博物館では、今年4月に「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」が日本遺産に認定されたことを記念し、12月10日(土)～来年2月5日(日)に特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonese Japan 2016」を、信濃川火焰街道連携協議会と新潟県立歴史博物館とともに開催する。同展は、日本遺産認定後、初めて東京で開催される火焰型土器の特別展覧会となる。関連イベント等は9面参照。



ワークショップ 渋谷探検！ 「渋谷の神社を見てみよう！ 〜神主とめぐる神社ツアー〜」

10月29日午前10時30分から、渋谷区在住・在学・在勤の小学5・6年生親子ペアを対象としたワークショップ「しづや探検！〜渋谷の日本の文化を知る〜」の渋谷探検！「渋谷の神社を見てみよう！〜神主とめぐる神社ツアー〜」が開催された。

同企画は、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環で実施されたもので、国学院大学博物館と国立オリンピック記念青少年総合センターが主催した。

日々神社(神奈川県相模原市)の神職でもある網谷哲成学芸員による、神社・神道に関するレクチャーを受けた後、区内の渋谷氷川神社、鳩森八幡神社を参拝の富土家「千駄ヶ谷の富士塚」に登頂した。



大学神殿で手水の使い方を説明する網谷学芸員

第19回狂言鑑賞会

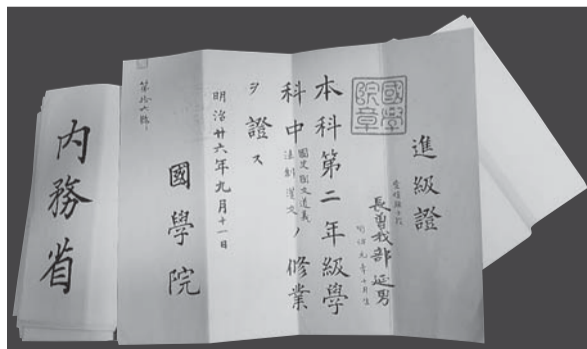
11月8日・9日にたまプラーザキャンパスで19回目の「狂言鑑賞会」が開催され、人間国宝・山本東次郎氏(昭36卒・69期文)の一門による至美を一目見ようと2日間で800人の参加があった。

初日は、講演会と鑑賞会の2部構成で行われた。午前10時30分から1号館講堂で開催された講演会では、田口和夫文芸大学教授が「狂言の昔と今(その十八)」と題して、鑑賞会で披露される演目の時代背景を解説した。午後1時からの鑑賞会は、1号館605教室に設けられた特設舞台で開かれた。初日の演目は「萩大名」。「月見座頭」。「首引」の三本に加え、語「呉服」が披露された。全てのプログラム終了後には東次郎氏による小舞が披露され、来場者から大きな拍手が送られた。

翌9日は、午前11時から近隣小学校5校の児童450人を招待し小学生対象狂言鑑賞会が開かれ、演目「柿山伏」が披露された。前日同様に午後1時から行われた鑑賞会では「箕被(写真)」「千鳥」「語「高砂」」「千切木」が演じられた。



「祭祀考古学」の世界へ誘われ、後2時から発表および賞の贈呈が行なわれた。



院友・長曾我部氏から 資料寄贈

10月、国学院大学博物館へは、伊豫豆比古命神社(愛媛県松山市)の長曾我部延昭官(昭41卒・74期神)から祖父の延昭氏に関する資料33点の寄贈を受けた。今回寄贈された資料群は、国学院2期生である延昭氏が受けた本学の進級証をはじめ、教員や神職としての辞令などである。

資料を調査した研究開発推進機構の渡邊卓助教は、「今回寄贈された資料群は、本学草創期の学生が卒業後に教育界や神業界で活躍した様子を伝え、本学の歴史とも関連するものだ」とコメントしている。

笹生衛博物館長 渋谷区観光大使に

笹生衛 国学院大学博物館長・神道文化学部教授(写真)が渋谷区観光協会「観光大使ヒストリカルアンバサダー」に就任した。任期は、10月1日から

平成31年9月31日まで。渋谷区観光協会は、平成24年に設立され、観光情報発信のほか、「遊び方」のモニター啓蒙などを含め観光経済への貢献活動を行っている。翌25年には、「観光大使」が区内の商店街やホテル、美術館・博物館などから選ばれ、それぞれの仕事を通じて、文化・伝統・流行などを発信している。

笹生衛博物館長 「古代歴史文化賞」を受賞 大賞は院友・田中氏

古代の歴史や文化に関する優れた書籍に贈られる「古代歴史文化賞」の今年度の受賞作が11月1日に発表され、田中史生(関東学院大学教授)が平5修・101期博前日史、平8修・104期博後日史)の著書『国際交易の古代列島』(KADOKAWA)が大賞に、笹生衛国学院大学博物館長・神道文化学部教授の著書『神と死者の考古学』(世界へ誘われ)が優秀作品賞4点を獲得し、同日午後2時から発表および賞の贈呈が行なわれた。

「古代歴史文化賞」は、日本の神話や古代史に関わりが深い5つの県(島根県、奈良県、三重県、和歌山県、宮崎県)が3年前に創設した賞で、直近の3年間に出版された一般向けの書籍の中から選出される。同日午前10時から帝国ホテル東京で開かれた選定委員会で大賞1点、優秀作品賞4点を決定され、同日午後2時から発表および賞の贈呈が行なわれた。

i インフォダイジェスト

…… 在学生向け …… 卒業生向け …… 一般

■内容 ■日にち ■時間 ■場所 ■対象 ■申し込み ■料金 ■問い合わせ

大学からの お知らせ

鳥取県中部の地震により被害に 遭われた学生・保護者の皆さまへ

10月21日に鳥取県中部で発生した地震で災害救助法が適用された地域に主たる家計支持者が居住し、今後の学生生活に支障をきたす恐れがある場合、保証人(保護者等)と相談のうえご相談ください。

- ▶ 学生生活課 (☎03・5466・0146)
- ▶ たまプラーザ事務課 (☎045・904・7705、人間開発学部のみ)
- ▶ 大学院事務課 (☎03・5466・0142)

大学事務局 年末年始の事務閉室について

12月28日(水)～平成29年1月6日(金)は閉室となります。学部・大学院・法科大学院の授業開始は1月7日(土)。

卒業式、卒業証書・学位記並びに 修了証書授与式について



3月19日(日) グランドプリンスホテル新高輪「飛天」で、経済学部・法学部・人間開発学部は10時から、文学部・神道文化学部・専攻科・別科は13時から卒業式を挙げる。式終了後、卒業証書・学位記、修了証書等の授与を経済学部・法学部は13時から、文学部・神道文化学部・専攻科・別科は16時から渋谷キャンパスに、人間開発学部は13時30分からたまプラーザキャンパスに移動し、実施します。

■総務課 (☎03・5466・0111)

学生生活課 事務閉室時間の変更について

①毎月第2・4金曜日の16時30分～17時15分は「事務休止」として緊急対応のみに②毎月第1・3金曜日の16時30分～17時15分は「会議・打ち合わせ時間」として窓口対応を縮小します。

保健室 感染症にご注意ください

インフルエンザなど感染症が流行する季節となりました。予防対策として「手洗いうがい」を常に心がけてください。詳しくは、ホームページを参照してください。他にもノロウイルスなどさまざまな感染症の流行が予想されます。感染症についての正しい知識を持ち、予防対策を取りましょう。

国際交流課 平成29年度国学院大学 協定留学生(派遣)の募集

協定留学制度(派遣留学)は、本学が国際交流協定を締結している外国の大学へ本学学生を交換留学生として派遣する制度。同制度による留学(平成29年9月～)の出願者を平成29年1月に募集します。留学希望者は積極的に選考試験にチャレンジを。留学先はマニトバ大学(カナダ)、ビンガムトン大学(米国)、南開大学・復旦大学(以上中国)、京畿大学校(韓国)、南台科技大学(台湾)、ハノイ大学(ベトナム)の7校。協定留学出願書類の受け取りや問い合わせは、渋谷キャンパス国際交流事務部国際交流課まで。

■国際交流課 (☎03・5778・7061)

イベント



学生対象ハラスメント防止研修

- 21世紀職業財団の担当者による研修。被害者・加害者にならないためにも受講を。
- 12月19日(月)
- 3限、4限
- たまプラーザキャンパス1号館101教室
- 本学学生
- ハラスメント相談委員会

吹奏楽部 第50回定期演奏会

- I・III部は吹奏楽部によるステージ、II部はOB・OGの奏友会ステージ
- 12月17日(土)
- 16時開演(15時30分開場)
- 東京・練馬文化センター大ホール
- 要事前予約
- 入場料500円(全席自由)
- 体育連合会吹奏楽部
- ☐kougakuin_windorchestra@yahoo.co.jp

平成29年新年院友交歓会



- 国学院大学院学生会主催の新年会。院友の活動報告や福引大会など。ご家族の方も誘い合わせの上ご参加ください。
- 平成29年1月21日(土)
- 17時開会(16時受付開始)
- 院友会館地下ホール
- 院友
- 院友会報同封はがき・FAX・メールで必要事項を事前にお知らせください。
- 会費6000円
- 院友会 (☎03・3400・7781)

「国学院大学学報」「別冊 K:DNA」購読のご案内

本学の機関紙を定期購読してみませんか?

「国学院大学学報」は、本学の学生・院友(卒業生)・教職員の活躍や、本学のニュースをお届けする機関紙(年11回発行、8月は休刊)です。

「別冊 K:DNA」は、広報課で活動する学生スタッフ・学生アドバイザーが企画・取材・編集を行っている季刊紙(年4回発行)です。

年間購読料は500円(税込・送料別)。また、感想なども随時募集しております(ハガキ・封書・ファクス・Eメールにて)。購読ご希望の方は、広報課までご連絡ください。



お問い合わせ先

国学院大学総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
電話 03(5466)0130(直通) FAX 03(5466)0528
メール kouho@kokugakuin.ac.jp HP http://www.kokugakuin.ac.jp/

博物館

平成28年度特別展「火焰型 土器のデザインと機能」

高馬国指定重要文化財出土品(長岡新瀧馬縄文館)



■「「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」の「日本遺産」認定を記念し、火焰型土器や同時期の土偶・石棒などの出土品を通して、その実態と魅力を紹介

- 12月10日(土)～平成29年2月5日(日) ※12月26日(月)～平成29年1月6日(金)は休館
- 10時～18時(入館は17時30分まで)
- 国学院大学博物館企画展示室
- 無料

国際縄文フォーラム火焰街道往 来2016「中期縄文土器の過剰な デザインと多様な第二の道具」

- 1日目は谷口康浩文学部教授と河仁秀釜山博物館長による基調講演。2日目は報告討論と小林達雄名誉教授の講話
- 12月10日(土)・11日(日)
- 1日目: 13時30分～16時10分
- 2日目: 10時～16時10分
- 渋谷キャンパス学術メディアセンター1F常磐松ホール

芸術は爆発だ!～渋谷で出会う岡本太郎と縄文～

- 渋谷探検ワークショップ「しぶや探検!ー渋谷で日本の文化を知るー」の2回目。「縄文の美」の発見者である芸術家・岡本太郎をしのび、大学博物館で火焰型土器などについて学ぶほか、渋谷近辺の岡本太郎スポットを探索。
- 平成29年1月21日(土)
- 10時～15時
- 国学院大学博物館・岡本太郎記念館・渋谷駅・NHKスタジオパーク
- 渋谷に関心がある小学3年生以上(小学生は保護者同伴)
- 平成29年1月20日(金)までにウェブで(先着40名) ※申込詳細は、本学HPイベント一覧にて
- 参加費(施設入館料)は大人720円・小人210円、昼食各自(大学食堂利用可)
- 国学院大学博物館 (☎03・5466・0359)

■要申込(先着270人) ※申込方法は本学HPイベント一覧にて

縄文コンサート

- 斎藤孝太郎氏によるエレキチェロ演奏
- ①12月10日(土)、②平成29年1月21日(土)
- ①16時30分～17時(ミュージアムトーク終了後)、②13時30分～15時30分
- 国学院大学博物館ホール
- 申込不要
- 無料

ミュージアムトーク

- 国学院大学博物館
- 申込不要
- 無料
- ▶1回目
- 講師は十日町市博物館の石原正敏氏
- 12月17日(土)
- 15時～16時
- ▶2回目
- 講師は津南町教委の佐藤雅一氏とエレキチェロ奏者の斎藤孝太郎氏。終了後に縄文コンサート
- 平成29年1月21日(土)
- 13時30分～15時30分
- ▶3回目
- 講師は長岡市立科学博物館の小熊博史氏
- 平成29年1月28日(土)
- 13時30分～14時30分
- ▶4回目
- 講師は新潟県立歴史博物館の宮尾亨氏
- 平成29年2月4日(土)
- 13時30分～14時30分



巨大壁画「明日の神話」(渋谷駅連絡通路内)

キャリアサポート

業界セミナー

- 個別の企業説明会では予約の取れない大手企業・優良企業から採用担当者が来校し、それぞれの企業や業界の特徴や企業理念などを説明。
- 12月22日(木)まで連日
- 3限～6限のいずれか
- 3年生はリクルートスーツ着用。1・2年生は私服でも可。

12月の業界セミナー(予定)

日	時限	企業
1日(休)	5	東京地下鉄
	6	アステラス製薬
2日(金)	5	シャープ、みずほFG
	5	スズキ、伊藤忠食品
6日(火)	5	関電工
	6	野村不動産
7日(水)	3	小野薬品工業
	4	時事通信社
8日(木)	5	富士通ゼネラル、タカラスダンダード
	6	東急建設
9日(金)	5	ユアサ商事、小学館
	5	カシオ計算機、講談社
13日(火)	5	プリンスホテル、三菱商事
	3	古河電気工業
14日(水)	4	JTB
	5	松井建設、近鉄エクスプレス
16日(金)	5	凸版印刷、西武鉄道
	5	そごう・西武
20日(火)	5	小田急電鉄、三井住友信託銀行
	3	野村證券
21日(水)	4	バンダイ
	5	セブニーイレブン・ジャパン

OB・OG訪問アドバイス

- 各業界で活躍する本学卒業の先輩から就職活動に関するアドバイスを聞く企画。採用担当者に聞きづらい質問も先輩に気軽に相談を。
- 12月17日(土)
- 午後
- 1～3年生

3大学合同面接トレーニング

- 他大学の学生と合同、講師は企業の人事採用担当者というより本番に近い面接トレーニング。
- 12月23日(金)
- 終日
- 3年生

解禁直前ガイダンス

- 就職活動が本格化する3月に向けて、年度内最後のガイダンス。マイナビ編集長が就職活動解禁前の動き方などをアドバイス。
- 平成29年1月11日(水)
- 3限または5限
- 3年生

※いずれも渋谷キャンパスで実施
※詳細の確認・申し込みはK-SMAPYのキャリアサポートシステムから

本学の学園祭・第134回若木祭が、渋谷キャンパスで開催された。11月2日午後5時に前夜祭、3日から5日まで本祭、5日午後3時には後夜祭が行われた。



120周年記念2号館、3号館前のキャンパスモール下には、各部会や個人会が模擬店を出店し、各団体が腕によりをかけた料理を提供。校舎内では、文化・芸術系団体の展示や発表会、講演会が行われた。また、3号館前のキャンパスモール下や130周年記念5号館ロビーでは、全学応援団、体育系部会の演武や吹奏楽部の演奏、ダンスサークルによるパフォーマンスなどが随時披露された。来場者は足を止め、学生たちの発表に声援・拍手を送っていた。

若木祭開催中は天候にも恵まれ、2日目には今年で44回目となった神輿渡御が行われた。威勢のいい掛け声とともに学生らが担ぐ神輿が近隣地域を練り歩いた。

3日目の午後2時30分からは体育連合会主催の毎年恒例となったお笑いライブが行われた。今年度はパンサーと横澤夏子、ザ・パンチの3組がコントや漫才で会場を盛り上げた。

百周年記念館4階記念講堂では音楽系サークルの後夜祭ライブが行われ、3日間にわたる若木祭の最後を飾った。



第134回若木祭

日頃の活動成果を披露

学生団体・個人の成績



◎柔道部 平成28年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(全日本学生柔道連盟主催)が10月29日、30日にベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)で行われた。全国53大学が出場した男子団体戦で、本学柔道部はベスト16に入った。1回戦の松山大学、2回戦の関西学院大学を大差で退けた柔道部は、3回戦で筑波大学に2-3で敗れ、涙をのんだ。

◎蹴球部 東京都大学サッカーリーグ戦1部(東京都大学サッカー連盟主催)は、5月1日から10月16日まで総当たりのリーグ戦が行われた。本学蹴球部は、7勝8敗3引き分け、勝ち点24で10校中7位だった。

◎卓球部 平成28年度第83回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部(日本学生卓球連盟主催)が10月27日から30日まで長野市真島総合スポーツアリーナで行われた。本学卓球部からは、男子ダブルスに3ペア、同シングルスに5人、女子ダブルスに1ペア、同シングルスに3人が出場した。結果は、男子ダブルス、宮城雄次君(法3)・高橋大悟君(日文2)ペア、同シングルスの手仁田啓市君(日文3)、女子ダブルス、荒川静香さん(神文4)・三成優佳さん(初教4)ペア、同シングルの海保優香さん(中文1)の2回戦敗退が最高だった。

◎ソフトテニス部 11月5日・6日に、千葉県白子町で平成28年度関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦が開催された。ソフトテニス部は男子が1部(全11部中)に、女子が5部(全10部中)に所属。総当たりのリーグ戦で、男子は1勝4敗、勝ち点1の5位、女子は5戦全勝、勝ち点5で優勝を果たした。女子は11月13日(日)に行われる入れ替え戦で4部昇格をめざす。

第71回「2016希望郷いわて」卓球、ソフトテニスで学生出場

第71回「2016希望郷いわて国体」が、10月1日から11日まで岩手県内各地で開催された。本学学生では、卓球とソフトテニスで7人が各県の代表として出場した。

都道府県対抗の団体戦の卓球(成年男子)は、2日から5日まで

1)は1回戦敗退だった。和賀川グリーンパークテニスコート(北上市)で2日から5日まで行われたソフトテニス(成年男子)では、ソフトテニス部の齋藤翔一君(史4)が埼玉県代表として、井上太晴君(健体2)が三重県代表として出場した。井上君が

で奥州市総合体育館で行われた。本学卓球部員が5人出場。近藤龍斗君(経ネ3)が出場した大分県は3回戦敗退だったほか、宇仁田啓市君(日文3)の三重県は、2回戦敗退。新山勇気君(香川県・井上君は複合で勝利に貢献し)三重県は5位に終わった。埼玉県は1

表2 平成28年度 若木学友会 予算 (単位 円)

収入の部				
科目	予算	前年度予算	増減	
会費収入	入会金	2,678,000	2,741,000	▲ 63,000
	会費	54,521,100	54,134,200	386,900
	特別会員(役職教員)	74,200	74,200	0
	特別会員(役職職員)	36,000	35,000	1,000
	協賛金(代表指導者)	197,000	199,000	▲ 2,000
	協賛金(一般)	0	0	0
前年度繰越金	6,025,729	3,428,873	2,596,856	
合計	63,532,029	60,612,273	2,919,756	

支出の部				
科目	予算	前年度予算	増減	
援助費	自治会	2,493,645	3,331,248	▲ 837,603
	文化団体連合会	15,554,197	13,969,176	1,585,021
	体育連合会	25,465,352	23,143,025	2,322,327
	新聞学会	1,791,661	2,745,303	▲ 953,642
	全学応援団	3,105,546	2,635,491	470,055
	若木祭実行委員会	6,868,035	6,314,198	553,837
	若木体育祭実行委員会	2,090,272	1,921,712	168,560
	同好会連合会	1,879,000	1,752,000	127,000
	非加盟各部会	1,600,000	2,590,000	▲ 990,000
	個人活動	270,000	270,000	0
返還費	349,600	116,000	233,600	
予備費	2,064,721	1,824,120	240,601	
合計	63,532,029	60,612,273	2,919,756	

表1 平成27年度 若木学友会 決算 (期間:平成27年4月1日~平成28年3月31日) (単位 円)

収入の部				
科目	予算	決算	増減	
会費収入	入会金	2,741,000	2,742,000	▲ 1,000
	会費	54,134,200	55,363,800	▲ 1,229,600
	特別会員(役職教員)	74,200	74,200	0
	特別会員(役職職員)	35,000	172,000	▲ 137,000
	協賛金(代表指導者)	199,000	213,000	▲ 14,000
	協賛金(一般)	0	133,000	▲ 133,000
雑収入	学生会費前年度残金	1,542,309	▲ 1,542,309	
前年度繰越金	3,428,873	3,428,873	0	
合計	60,612,273	63,669,182	▲ 3,056,909	

支出の部				
科目	予算	決算	増減	
援助費	自治会	3,331,248	3,331,248	0
	文化団体連合会	13,969,176	13,969,176	0
	体育連合会	23,143,025	23,143,025	0
	新聞学会	2,745,303	2,745,303	0
	全学応援団	2,635,491	2,635,491	0
	若木祭実行委員会	6,314,198	6,314,198	0
	若木体育祭実行委員会	1,921,712	1,921,712	0
	同好会連合会	1,752,000	1,752,000	0
	非加盟各部会	2,590,000	1,450,000	1,140,000
	個人活動	270,000	260,000	10,000
返還費	116,000	121,300	▲ 5,300	
予備費	1,824,120	1,824,120	0	
次年度繰越金		6,025,729	▲ 6,025,729	
合計	60,612,273	63,669,182	▲ 3,056,909	

若木学友会

28年度予算など承認

若木学友会(会長・赤井益久学長)は、7月16日に役員会を開催し、平成27年度若木学友会決算および28年度同会予算を承認した。

同会は、学生の文化活動、体育活動などにおいて人格の陶冶や健全な身体の発育、人間性の向上を図ることを目的に平成26年度に発足した。

陸上競技部 伊勢路を力走 総合9位

第48回全日本大学駅伝が11月6日、愛知・熱田神宮から三重・伊勢の神宮までの全8区間、全長106.8キロのコースで行われた。6月に行われた関東地区予選会を突破し、2年連続4回目となる本学陸上競技部は、5時間22分11秒で過去最高の総合9位に入った。優勝は、青山学院大

大駅伝の一つ。当日は晴天に恵まれ午前8時5分にレースがスタートした。1区の間細森大輔君(法4)が区間7位で好位置につけると、5区・土方英和君(健体1)が区間4位、6区・熊耳智貴君(法3)、7区・蜂屋瑛拓君(法2)がいずれも区間6位と好走し、過去最高の9位でゴール。後半の区間で一人一人が力を出し切ってくれたことで9位につながったと思う。個々の課題はあるが、一桁順位は自信になった。気を引き締めて箱根駅伝に向けて戦っていききたい」とそれぞれ次なる戦いへ決意を新たにしていた。

学生3大駅伝で初の1桁順位

総合成績

順位	大学名	総合タイム
1位	青山学院大学	5:15'15
2位	早稲田大学	5:16'11
3位	山梨学院大学	5:16'50
4位	駒澤大学	5:17'41
5位	中央学院大学	5:19'36
6位	東洋大学	5:19'49

以上、シード権獲得

7位	東海大学	5:20'55
8位	拓殖大学	5:21'16
9位	国学院大学	5:22'11
10位	帝京大学	5:22'30
11位	明治大学	5:23'19
12位	日本大学	5:23'45
13位	日本体育大学	5:23'51
14位	国士舘大学	5:27'02
15位	大東文化大学	5:27'46
16位	立命館大学	5:30'40
17位	京都産業大学	5:31'37
18位	大阪経済大学	5:33'46
19位	東北大学	5:33'49
20位	日本文理大学	5:34'20
21位	広島経済大学	5:34'32
22位	岐阜経済大学	5:34'41
23位	北海道教育大学	5:37'37
24位	新潟大学	5:37'48
25位	関西大学	5:38'33
OP	全日本大学選抜	5:36'41
OP	東海学連選抜	5:30'08

OPはオープン参加

1区・スタート地点での応援



1区・細森君



2区・蜂須賀君



3区・青木君



4区・稲毛君



5区・土方君



6区・熊耳君



7区・蜂屋君



8区・國澤君(皇學館大学提供)



ゴール付近での応援

出場選手成績

区間	氏名	学年	タイム	区間順位
1	細森 大輔	法 4	44'03	7
2	蜂須賀 源	健体4	39'19	12
3	青木 祐人	経ネ1	28'16	10
4	稲毛 悠太	経ネ4	42'26	12
5	土方 英和	健体1	35'27	4
6	熊耳 智貴	法 3	36'23	6
7	蜂屋 瑛拓	法 2	35'21	6
8	國澤 優志	神文3	1:00'56	13



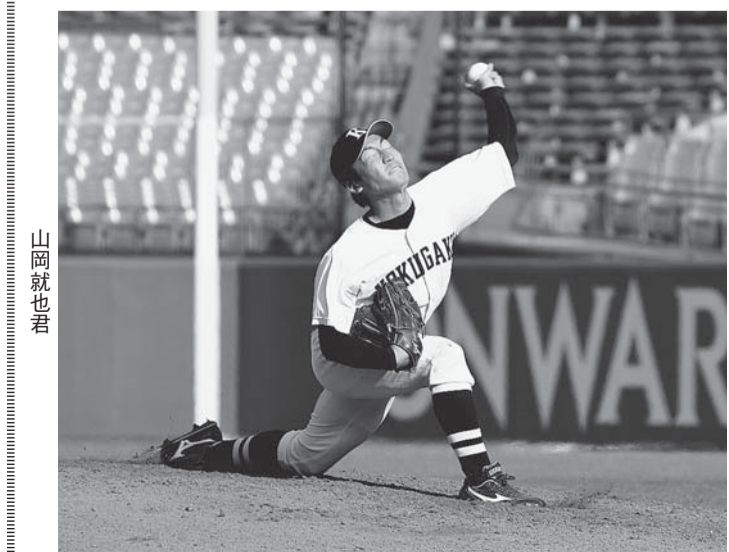
硬式野球部 東都秋季リーグ戦 健闘4位

東都大学野球秋季1部リーグ(9月5日〜10月27日)は全日程を終了した。本学硬式野球部は6勝1分7敗ながらも5つの対戦カードでストリート負けを喫することなく、完全優勝の日本大学を苦しめるなど善戦した。チーム成績は勝ち点2で昨年より順位を1つ上げた4位。

開幕カードの相手、専修大学から勝ち点を挙げ勢いに乗り上げた10月12日、今季完全優勝を果たした日大を苦しめる試合を展開。山岡就也君(健体2)、宮内崇匡君(神文3)、山口和哉君(法2)の3人の継投で延長15回を守り抜き、0-0の引き分けに持ち込んで持ち前の粘り強さをみせた。

10月27日に迎えた最終戦の対戦相手は1勝1敗の亜細亜大学。1年生の投手、小玉和樹君(史1)をはじめ伊藤雅人君(経ネ1)、井古田拓也君(健体1)、貞光広登君(経1)らが出場。途中で平古場祐作君(経ネ1)がマスクをかぶるなど1・2年生中心で試合に臨んだ。進藤逸君(経2)の2塁打などが出るもつながら、0-10で敗れた。小玉君に3イニング、山口君に2イニングを任せ、横井佑弥君(健体2)を先発捕手に起用するなど来季を見据えた采配だった。

表彰選手は残念ながらいなかったものの、チーム内打率は山岡剛君(経管3)が.317でトップ。防御率では清水昇君(日文2)が2.74でトップだった。



山岡就也君



第93回東京箱根間往復大学駅伝競走(関東学生陸上競技連盟主催)の出場権をかけた予選会が、10月15日午前9時35分に立川市・陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、立川市街地を抜け、昭和記念公園内をゴールとする20kmのコースで行われ、50校が出場した。予選会は1校につき12人が出走、上位10人の合計タイムで本選出場の切符をかけて争う。

本学陸上競技部は、最終総合タイムが10時間14分9秒で8位に入り、2大会ぶり10度目の本選出場を決めた。

個人では、細森大輔君(法4)が1時間0分4秒で14位に入り、チームを牽引した。

本大会は、来年1月2日・3日に東京・大手町読売新聞社東京本社前から神奈川・箱根芦ノ湖までの往復で、シード校10校(青山学院大学、東洋大学、駒沢大学、早稲田大学、東海大学、順天堂大学、日本体育大学、山梨学院大学、中央学院大学、帝京大学)、今回の予選会通过校10

箱根駅伝予選会突破

— 2大会ぶり10度目の箱根路へ —

校とオープン参加の関東学生連合チームが出場する。本学以外の予選会突破校は別表の通り。

レース後の結果報告会で前田康弘監督は、「課題は明確で山積み」と語り、さらなる飛躍を誓った。主将の蜂須賀源君(健体4)も「予選会トップ通過を目指してこの1年やってきたので満足はしていない」と悔しさをにじませ、「箱根ではシード権を必ず取る」と決意を新たにしていた。



沿道から、全国から選手にエールを 学生応援ボランティアを募集

本学と国学院大学駅伝応援の会(坂本真佐人会長)、国学院大学院友会、若木育成会では、箱根駅伝当日の沿道に応援ポイント(下図参照)を設け、選手に声援を送る予定だ。

本学では、各応援ポイントでの応援、幟の設置、沿道の清掃などを行う学生応援ボランティアを募集する。参加者には、大学オリジナル応援グッズを進呈。希望者は、申込用紙に必要事項を記入し、学生生活課・たまプラーザ事務課に提出を。12月9日(金)まで申し込みを受け付ける。詳しくは学生生活課(☎03・5466・0145)まで。

広報課では、「箱根駅伝Twitterで応援キャンペーン」を実施する。沿道やテレビの前での応援の様子、選手へのメッセージなどをご自身のツイッターアカウントから、ハッシュタグ「#箱根駅伝93国学院」をつけて投稿を。

順位	大学名	合計タイム
1位	大東文化大学	10時間8分07秒
2位	明治大学	10時間8分17秒
3位	創価大学	10時間10分09秒
4位	法政大学	10時間10分18秒
5位	神奈川大学	10時間11分47秒
6位	上武大学	10時間12分12秒
7位	拓殖大学	10時間12分36秒
8位	国学院大学	10時間14分09秒
9位	国士舘大学	10時間14分45秒
10位	日本大学	10時間16分17秒

以上、出場権獲得

